

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170200473		
法人名	介護サービス九州株式会社		
事業所名	つくしんぼのグループホーム唐津		
所在地	佐賀県唐津市和多田大土井2-35		
自己評価作成日	平成25年5月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成25年6月5日	外部評価確定日	平成25年7月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>職員の技術向上に努めながら自然な形での自立支援「自己選択」「自己決定」、予防「生活療法」を行っています。又、地域の方とのふれあいに力を入れることにより、来訪される方も多くなり共に語らい食事などを楽しみ、又イベントの参加もしていただき交流を深めています。平成24年10月に2人の職員が喀痰研修を終了しています。今後も喀痰研修を受講し、安心して看取りのできる事業所を目指したいと思ひます。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>玄関の回りにはアジサイの花が咲きほこり顔を見合わせているようなやさしい雰囲気を利用して利用者を迎えている。責任者もスタッフも若い人達ですが、利用者の方々に対する愛情は他施設に負けません。専門知識を得るためにと喀痰研修、認知症に関する研修など積極的に参加されている。人生の先輩である利用者の方々に対し、言葉かけなどには十分注意しながら話を聞き入れ和気藹々と過ごされている。</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を各職員が理解し、母体の理念、事業所理念を毎日朝礼で唱和し確認し実践につなげています。	毎朝、業務に入る前に管理者を中心に事業理念を唱和して再確認をされている。目につくところに理念を掲げ、実践につなげる為に意識付けも行っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方々をお誘いし、毎月1回交流会を開催しております。花見ではご家族、地域の皆様の協力もあり楽しい時間を過ごせました。今後ますます地域の皆様との交流を広げたいと思います。	月に1回地域との交流会を開催しており、近隣の高齢者の参加がある。日常的に散歩に出かけ地域の人と挨拶を交わしている。畑の作物や季節の果物などの差し入れをいただくこともある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症サポーターの養成を受けたスタッフが6名いるので今後は地域に貢献できるよう地域の集まりに参加したいです。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所状況をありのまま報告しています。皆様からいろんな意見や情報、希望を頂けますのでサービスの改善と向上にむけて取り入れております。	会議は、2か月に1回開催され その参加者は利用者を始め多岐にわたる。厳しい意見も出るが、管理者は真摯に受け止め、改善出来る事は改善し、より良い介護につなげる努力をされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	メール等できめ細かく協力体制ができています。事業所での事故発生時や実情等を報告し、担当者の方から指示等頂いています。	市町村担当者とは相談できる関係づくりが出来ている。細かい情報交換もできている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中玄関、窓は開放しております。事業所内で身体拘束についての研修を行い、理解を深め日常生活に身体拘束をしないケアを実践しています。	1ヶ所は職員専用の出入口で高い段差もあることから常時施錠されているが、玄関は解放され、いつでも出入りできるようにされており、拘束のないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内で虐待防止についての研修を行い、理解を深めています。スタッフ同士お互いに「その行動は虐待に繋がるような事ではないか？」と話し合いをしました。個人では気づかない部分も指摘を受けることで防止、対応しています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護について研修を開催し、利用者が必要時は活用できるように行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	懇切、丁寧に行い不明な点はいつでも問い合わせ可能にしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご本人には日々のケアの中で要望等の情報収集を行い、ご家族に関しては面会時、利用者状況、要望等をお聞きしています。又、運営に反映しています。	家族会は無いので運営推進会議の時や面会時に積極的に情報交換を行い、出された意見はミーティング等で話し合い運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議、又日々の朝礼時に機会を設け職員の意見や、提案を反映しています。	ミーティングや職員会議で出た意見は代表者に伝え改善を図るなど、スタッフからの意見や提案は職員や利用者の処遇改善に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	現在も、非常勤の場合、給与水準が一定であり、年数にかかわらず給与が同じなので、今後は見直したいと思います。又、非常勤の有給がないので検討したいと思います。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間研修計画に合わせ、毎月研修を行いトレーニングを行っています。日々のケア方法について不安な面はその都度事業所内で指導しています。外部研修に参加するなど、今年は2名のスタッフが介護福祉士の資格を習得されました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	年に数回、実践に繋がる研修内容の時にはグループホーム研修に参加しましたが、あまり勉強にならないと意見があり現在も不参加状態です。また個人的には同業者の交流はあるようです。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に担当者会議を開催し、ケアプランを作成し、利用者が少しでも安心して生活できるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に担当者会議を開催し、ケアプランを作成し、ご家族の要望を取り入れ、少しでも安心して頂くように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に担当者会議を開催し、ケアプランを作成し、その都度必要とする支援を臨機応変に行えるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	事業所理念を念頭に置き、暮らしを共にする関係を築くようにしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	事業所理念を念頭に置き、暮らしを共にする関係を築くようにしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、知人友人の方など自由に面会でき、各居室等好きな場所での面会をして頂いています。又、近所の方や外出先での知人にお会いする機会があった時も挨拶、会話等されています。	昔からかかっている病院受診の時は馴染みの人とゆっくり話ができるような配慮も行われている。ドライブ等の行事も馴染みの場所を選択して出かけるなど、関係が途切れないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体操、掃除、食事作り、おやつ作り、散歩、ドライブ等を日々行い、利用者様同士関わり、支え合える事業所作りを行っていますが、時折利用者様同士口論になる時があります。そのような時は利用者様同士が解決できるような時は様子を見て、出来ない時は支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	亡くなられたり、在宅復帰された方もいらっしゃると思いますが、時々ご連絡を下さり状況を伺い知ることができています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日の生活の中で利用者様の表情や会話の中から、家族の話から思いを感じ取るようにしています。	本人の気持ちを大切にしており、日々の行動や表情から汲み取り把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の関わりの中で情報収集し、ケアに役立っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中で情報収集に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族には日頃の関わりの中で、思いや意見を聞き、反映させるようにしています。アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、会議を行っています。	日々の関わりの中から把握した本人や家族の気持ちを計画に反映させている。全ての職員が関わって計画の作成やモニタリングが出来る。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状況を記録し、職員間で共有しながら必要時はケアプランを変更しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者、家族の個々のニーズに柔軟に対応できるように勤務態勢も工夫し取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者の意向や必要性に応じて、ボランティア、消防、行政と協力をしながら支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医と連携を図りながら適切な医療を受けています。	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。受診や通院は基本は家族同行の受診となっているができない場合は、スタッフが代行する時もある。医療機関との連携も図るよう努めている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回、訪問看護を利用させて頂き、お互いに情報交換を行い、状態変化の早期発見に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	常に主治医やソーシャルワーカー、看護師と連携を図り、医療機関との協働に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族、主治医、訪問看護、行政と連携を図りながら支援に取り組んでいます。	今までに二人の方の看取りを行った事例がある。本人や家族の意向をふまえ、医師と職員が連携を取り、安心して最期を迎えられるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	月に一度の誤嚥時の対応方法、心肺蘇生法の訓練を実施しています。又、その時の利用者様の状況に合わせ事故の予測を立て、職員会議等で話し合いをしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時マニュアルを基に、環境整備等にも気を付けています。年に2回の消防署指導の消防訓練を行っています。又、事業所内で月1回の消防訓練を実施しています。	火災報知機、スプリンクラーは設置されている。心肺蘇生の訓練も毎月実施している。地元の消防団の参加による夜間の訓練も実施している。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様一人一人にあった分かりやすい言葉遣いを心がけ、言葉かけの方法を区別して対応しています。	利用者を年長者として敬意を払い、慣れ合いの中で利用者の尊厳を損なうような対応になっていないか互いに注意しながら対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	基本的には自己決定されています。迷うときは選択肢を提案し、自己決定できる支援をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大元の生活のリズムはほぼ決まっていますが、利用者様の中にも高齢や身体状況によっては日々ペースが変化する方も出てきたので一人一人にあった支援を行っています。日曜日にはその方の希望を聞いて外出していません。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好きな服を選んでおしゃれを楽しんでおられます。衣類の選択ができなくなった利用者にはその日の天候にあった物や好きそうな衣類を職員が選んで身だしなみを行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	好き嫌いやアレルギーを把握し、代替等を行っています。食べ物はその人の嚥下や咀嚼にあった形態に変更しています。職員も一緒に食事し楽しい時間を過ごしています。	栄養士による食事の管理が行われている。週1回は利用者の希望されるメニューにしている。利用者と職員が一緒に食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様一人一人の活動量、病状に合わせて、主治医・訪問看護と相談しながら栄養摂取量を決めています。食事量、水分量は記録を行い脱水予防に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、利用者様にあった器具を利用し感染予防に努めています。どうしても不足する部分があるので、訪問歯科の定期診療を利用して補っています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄状況を把握、記録しながら自立に向けて支援しています。	排泄の記録をもとに利用者の排泄のパターンを職員が把握し、自立に向けた支援が行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因を理解し、適度な運動や飲食物(牛乳含む)の工夫をしているが、上手くいかない利用者は主治医へ相談しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ある程度、本人の希望、体調・病状に応じ予定を決め入浴しています。当日、入浴したくなければ次の日に行ったりしています。	毎日入浴が可能である。利用者の気持ちを大切に無理強いしない入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時々状況で就寝時間が変わるので一人一人に合わせた就寝ケアを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が処方箋を確認できるように保管し、チェック表を利用しながら誤薬のないよう努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者一人一人が楽しみからできる役割を考え、実践して頂いています。自ら好みの食べ物、飲み物を伝えられ外出時に外食できるなど気分転換を図っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者様の希望に応じて、できる限り外出・ドライブ・散歩に出かけます。又、ご家族の依頼があればご家族との外出・外食等も行っていきます。	天気の良い日は毎日散歩に出かける。季節ごとに外出の計画を立てる。遠いところは福岡まで出かけることもある。家族同伴の外出には積極的に声かけをしている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	受診、買い物する際は、利用者様にお預かりしているお金を渡し、支払い等行って頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば直ぐに対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、床の間には季節花を飾り、利用者が季節を感じ、安心して生活できますように工夫しています。	居間はできるだけ共有空間で過ごしてもらっている。家庭的な雰囲気大切に季節の花を飾っている。躓いたりしないように整理整頓を心掛けている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様は殆ど居間で過ごされます。縁側にもフリースペースを設けて景色を楽しんだり、ひなたぼっこして一人でも好きな時間が過ごせるような場所があります。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物に囲まれて、居心地良いように過ごされています。	居室には馴染みの家具を持ち込んでもらい、居心地の良い空間を作ることを心掛けている。仏壇を持ちこまれている利用者もおられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	常に整理整頓を心がけ、事故予防に努めています。利用者が生活の中で必要な物は位置を変えずに「できること」「わかること」を妨げないようにしています。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない